

No	章	施策名	満足度指数(平均値)			満足度指数の推移	次回以降アンケートに記載される第二次前期計画の主な取組	平成33年(目標値)	基準値との差	目標値設定根拠	【参考】アンケート結果回答項目別割合の推移
			平成24年	平成26年	平成28年(基準値)						
1	1	幼児教育	3.13	3.04	3.21		<ul style="list-style-type: none"> ●幼児教育の充実 ●幼児教育環境の整備 ●幼児の生活習慣指導の充実 	3.25	0.04	<p>満足度指数は平成26年に下降したが、平成28年には0.17上昇した。これは平成27年に信州型やまほいく認定制度の認定を受け自然を生かした教育・保育の充実を図ったことや、平成28年度より第3子保育料の無料化を行ったことなどによるものと考えられる。</p> <p>今後も地域の自然を生かした教育、やまほいくの推進を図るなど、幼児教育の充実に努めることにより、上昇した満足度を維持するとともに5年間で0.04の上昇を目指す。</p>	<p><満足度></p>
2	1	学校教育	3.02	3.14	3.16		<ul style="list-style-type: none"> ●学校教育施設の充実 ●教育内容の充実 ●特別支援教育、不登校対策の推進 ●学校給食の充実 ●児童生徒の保健管理と安全対策の推進 	3.18	0.02	<p>満足度指数は平成26年に大きく上昇し、その後も上昇している。今後は佐久市教育振興基本計画に掲げる学校教育の「目指す姿」の具現のために必要な施策を行い、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、現在の水準を維持したうえで、5年間で+0.02を見込み3.18とする。</p>	<p><満足度></p>
3	1	高校教育・高等教育	2.99	3.03	3.02		<ul style="list-style-type: none"> ●高校教育の充実 ●優秀な人材の育成 	3.03	0.01	<p>満足度指数は、ほぼ平均値で横ばい傾向にある。今後は、佐久市奨学金制度において平成29年より償還金の一部免除を実施する等、施策の充実により満足度の維持を目指す。</p> <p>目標値は微増の3.03とする。</p>	<p><満足度></p>
4	1	青少年健全育成	3.04	3.06	3.15		<ul style="list-style-type: none"> ●地域ぐるみの青少年育成 ●青少年研修事業の推進 ●交流・学習拠点施設の充実 	3.20	0.05	<p>満足度指数は、上昇傾向にある。これは地区育成会活動への支援により青少年育成活動件数の増加や、補導委員による街頭報道活動、子どもが多様な体験ができる研修事業等を実施したことによるものと考えられる。</p> <p>今後は少子化が進む中で、次代を担う人材を育成することが重要となることから、地区育成会活動、補導活動、体験活動や海外研修等の事業を引き続き実施し、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、過去の上昇傾向を維持するため年+0.01を見込み3.20とする。</p>	<p><満足度></p>
5	1	文化・芸術	2.99	2.93	3.12		<ul style="list-style-type: none"> ●文化振興のあり方検討 ●既存施設の充実と有効活用 ●市民の文化・芸術活動の促進。収蔵美術品の調査・検討 ●佐久の先人(業績・影響などを残した人物)の調査検討と成果の活用 ●文化財の保護・継承と有効活用 	3.17	0.05	<p>満足度指数は、平成28年には0.19上昇した。これは文化振興基金活用事業等の効果によるものと考えられる。</p> <p>今後も文化振興基金活用事業を充実させることにより満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、年+0.01を見込み3.17とする。</p>	<p><満足度></p>
6	1	生涯学習	3.25	3.25	3.32		<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習活動の活発化 ●生涯学習環境の充実 ●図書館サービスの充実 	3.32	0.00	<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、高い値となっている。これは、団塊の世代の退職に伴う生涯学習への関心の高まりに対し、様々な講座等の充実を図ったことによると考えられる。</p> <p>今後も市民のニーズに合った各種講座の開催や、生涯学習環境の整備に努めることにより、平成28年度の3.32という高い満足度の維持を目指す。</p>	<p><満足度></p>

No	章	施策名	アンケートに記載されている第一 次後期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)			満足度指数の推移	次回以降アンケートに記載される 第二次前期計画の主な取組	平成33年 (目標値)	基準値と の差	目標値設定根拠	【参考】アンケート結果回答項目別割合の推移
				平成24年	平成26年	平成28年 (基準値)						
7	1	スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯スポーツ参加機会の充実 ●競技スポーツの振興 ●体育施設の充実 	3.02	3.15	3.17		<ul style="list-style-type: none"> ●生涯スポーツの振興 ●競技スポーツの振興 ●東京オリンピック・パラリンピック開催による交流の促進 ●体育施設の充実 	3.30	0.13	<p>満足度指数は平成26年に大きく上昇し、その後も上昇している。今後も生涯・競技スポーツの振興などに努めるとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催による交流の推進などにより、目標値の上昇を目指す。目標値は、5年間で0.13ポイントの上昇を見込み3.30とする。</p>	<p><満足度></p>
8	1	人権尊重社会	<ul style="list-style-type: none"> ●人権意識の高揚 ●人権教育の推進 	3.08	3.09	3.15		<ul style="list-style-type: none"> ●人権意識の高揚 ●人権教育の推進 	3.20	0.05	<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、人権意識の高揚への取組や人権教育の推進による効果と考える。過去4年間で0.07上昇していることから、今後も人権同和教育・啓発活動事業などの取組を実施することにより、5年間で0.05の上昇を目指す。</p>	<p><満足度></p>
9	1	男女共同参画社会	<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画意識づくり ●男女が共に健やかに暮らし、安心して働ける環境づくり ●男女共同参画の視点による人権の尊重と暴力のない社会づくり 	3.10	3.03	3.10		<ul style="list-style-type: none"> ●男女共同参画の意識づくり ●女性が活躍できる環境づくり ●人権の尊重と安心・安全な社会づくり 	3.15	0.05	<p>満足度指数は、ほぼ横ばい傾向にある。本年度策定する男女共同参画プランに基づき各種施策を展開することにより、満足度指数の上昇を目指す。目標値は、5年間で0.05ポイントの上昇を見込み3.15とする。</p>	<p><満足度></p>
10	2	土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ●秩序ある土地利用の推進 ●バランス良い都市構造の再構築 ●土地需要の調整と適正な土地利用の誘導 ●国土調査の推進 	2.82	2.87	2.99		<ul style="list-style-type: none"> ●秩序ある土地利用の推進 ●機能の集約とネットワーク化 ●土地需要の調整と土地利用の適切な誘導 ●国土調査の推進 	3.00	0.01	<p>満足度指数は、H24からの4年間で0.17ポイント上昇している。第二次国土利用計画(佐久市計画)による適切な土地利用を推進することとしているが、その効果を得るには時間がかかるため、平均値である3.00を目標値とする。</p>	<p><満足度></p>
11	2	市街地	<ul style="list-style-type: none"> ●良好な市街地の形成 	2.80	2.94	2.99		<ul style="list-style-type: none"> ●良好な市街地の形成 	3.04	0.05	<p>満足度指数は、上昇傾向にあるが、平均点を前に上昇幅は小さくなっている。立地適正化計画に基づく居住機能と都市機能の適切な誘導や樋橋地区における土地区画整理事業による市街地整備などにより満足度指数の上昇を目指す。上昇幅は、平均値に近づくにつれ小さくなっていることから、5年間で0.05の上昇を目標とする。</p>	<p><満足度></p>
12	2	公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設の管理方法 ●公共施設の適正な配置と整備 ●公共施設の耐震化 	2.93	3.02	3.09		<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設の適正な更新と整備 ●公共施設の管理方法 	3.10	0.01	<p>満足度指数は、上昇傾向にあるが、公共施設等総合管理計画の策定により、統廃合等が進められることから、今後は満足度は下降傾向が見込まれる。しかしながら、人口減少や財政状況の維持のための「公共施設の適正化」の理解を促し、市民と行政との意識の共有を進めることで、満足度の現状維持を目指す。上記より、目標値は基準値+0.01とし、若干ではあるが上昇するように取り組むこととする。</p>	<p><満足度></p>

No	章	施策名	アンケートに記載されている第一 次後期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)			満足度指数の推移	次回以降アンケートに記載され る第二次前期計画の主な取組	平成33年 (目標値)	基準値と の差	目標値設定根拠	【参考】アンケート結果回答項目別割合の推移
				平成24年	平成26年	平成28年 (基準値)						
13	2	住宅 ※「住宅・宅 地」と聞い た。	●総合的な住宅施策の方 針策定 ●公営住宅の整備と管理 ●住宅・宅地の適正供給 ●質が高く安全な住環境の 整備や空き家対策の充実 ●耐震改修の促進	2.88	2.88	3.01		●公営住宅の整備と管理 ●空き家対策の推進 ●住環境空間の創出 ●耐震改修の促進	3.01	0.00	満足度指数は、平成28年に0.12上昇したが、人口が減少して 行くことが見込まれる中、公営住宅については財政状況も勘案 し建替えの抑制や統廃合等を進める必要がある。また、民間住 宅については空き家の増加が予測されており、それに伴い政府 も新築住宅の優遇政策から中古住宅の流通促進へと政策をシ フトする見込みである。こうしたことから、満足度は下降傾向が 見込まれるものの、公営住宅の長寿命化施策や、空家等の調 査に基づく適正管理・利用拡大などの抑制促進、住環境整備の 支援策の推進により満足度は現状維持を目指す。	
14	2	高速交通ネッ トワーク	●高速自動車道の整備促 進 ●北陸新幹線の延伸促進 ●松本・佐久間の地域高規 格道路建設促進 ●佐久平駅やインターチェ ンジの利用促進	3.45	3.40	3.46		●高規格幹線道路等の整 備と利用の促進 ●北陸新幹線の整備と利用 の促進	3.48	0.02	満足度指数は、ほぼ横ばいであるが、高い値を維持してい る。これは、北陸新幹線の金沢延伸、中部横断自動車道の利 用増加などによるものと考えられる。 今後は、高規格幹線道路の整備等を進めることにより、さら なる満足度の上昇を目指す。 目標値は、平成29年度中に中部横断自動車道(仮称)八 千穂ICまで開通予定であり、交通の利便性も高まることから +0.02を見込み、3.48とする。	
15	2	地域交通ネッ トワーク	●地域幹線道路網の整備 ●生活道路の整備充実 ●道路の計画的な維持管 理 ●地域公共交通の維持・見 直し ●広域的公共交通機能の 充実	3.06	3.03	2.97		●地域幹線道路網の整備 ●生活道路の整備充実 ●道路の計画的な維持管 理 ●地域公共交通の維持・見 直し	3.00	0.03	満足度指数は、下降傾向となっている。 今後は、効果的な地域幹線道路網の整備や、計画的な道路 の維持管理等を進めるとともに、地域公共交通の見直しによる 交通機関の利便性の向上と運行の効率化を図ることにより、満 足度の上昇を目指す。 目標値は、まずはこの5年間で0.03ポイント回復させ、平均値 である3.00とする。	
16	3	農業	●農業経営構造の確立 ●優良農地の保全 ●農業生産の振興と食料の 安定供給の確保 ●農業・農村の多面的機能 (食文化の形成・伝承など) の向上 ●農業基盤(水路や農道) 整備の推進 ●農商工連携による地産地 消の推進	2.93	2.92	3.01		●農業経営基盤の確立 ●農業生産基盤の整備と維 持 ●安全・安心な食料の供給 ●活力ある農村づくり	3.11	0.10	満足度指数は、平成28年に0.09上昇している。 今後は、新・農業振興ビジョンに基づき、担い手の経営基盤の 強化、農地の利用集積、安全安心な食料供給、農村の振興等 に積極的に取り組み、農家や市民の満足度の向上を目指す。 目標値は、過去4年間の伸び率(年+0.02)が継続することを 見込み、3.11とする。	
17	3	林業	●林業生産の振興 ●森林の保全 ●森林の多面的機能(健康 づくりや観光、レクリエーシ ョンなど)の活用	2.84	2.88	2.85		●林業経営基盤の確立 ●林業生産基盤の整備と維 持 ●多面的機能を発揮する森 林づくり	2.90	0.05	満足度指数は、平均値よりも低い値で、横ばい傾向である。素 材生産が増加しているにもかかわらずこのような傾向にあるの は、木材利用に対する市民の関心が薄くなっていることによるも のと考えられる。 今後は、地元産材であるカラマツなどを公共施設などに活用 し、地元産材の利用の促進や、多くの人に木の温もりを身近で 感じてもらう関心を高めることにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、年+0.01を見込み2.90とする。	
18	3	水産業	●内水面漁業(淡水での漁 業)の振興 ●佐久鯉のブランド化促進 及び商業・観光業と連携し た水産業の多面的な振興	3.01	3.08	3.08		●内水面漁業(淡水での漁 業)の振興 ●魅力ある水産物のブラン ド化と発信	3.18	0.10	満足度指数は、横ばいである。 今後は、これまでの内水面漁業振興に加え、平成29年度から 鮎に対する振興策を着実に進めていくことにより満足度指数の 上昇を目指す。 目標値は、過去4年間の伸び率(年+0.02)が継続することを 見込み、3.18とする。	

No	章	施策名	アンケートに記載されている第一 次後期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)			満足度指数の推移	次回以降アンケートに記載され る第二次前期計画の主な取組	平成33年 (目標値)	基準値と の差	目標値設定根拠	【参考】アンケート結果回答項目別割合の推移
				平成24年	平成26年	平成28年 (基準値)						
19	3	商業・サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ●商業経営の体質強化 ●魅力ある商店街の形成 ●商業立地のバランスと利便性の確保 ●流通・サービス業の振興 ●新たな商品開発とブランド化の促進 	2.86	2.85	2.87		<ul style="list-style-type: none"> ●商業経営基盤の確立 ●魅力ある商店街の形成 ●魅力ある中心市街地の形成 ●良好な商業環境の形成 ●流通・サービス業の振興 ●魅力ある商品のブランド化と発信 	3.00	0.13	満足度指数は、平均の3.00を下回りほぼ横ばいである。今後は、中心市街地活性化基本計画策定による商業振興を図ることにより、平均値である3.00を目指す。	<p><満足度></p>
20	3	観光	<ul style="list-style-type: none"> ●観光振興施策の推進 ●観光基盤の整備 ●観光の情報発信 ●農林水産業や商工業との連携による体験型観光や土産品の開発の促進 	2.85	2.89	3.03		<ul style="list-style-type: none"> ●魅力ある観光地づくり ●観光基盤の整備 ●観光の情報発信 ●多様な主体間の連携の促進 	3.15	0.12	満足度指数は、上昇傾向にあり、平成28年には平均である3.00を超えた。これは、関係都市などのイベント参加や新聞雑誌などの観光誘客宣伝などを強力に進めてきたことによるものとする。今後は、インターネットなどによる情報発信や、広域連携を図ることによる魅力の向上を進めることにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、過去の伸び率から+0.12の伸びを見込み3.15とする。	<p><満足度></p>
21	3	工業	<ul style="list-style-type: none"> ●ものづくり産業の育成 ●工業基盤の整備と活用 ●企業誘致の推進 ●農業・観光施策との連携、異業種連携、大学との連携の促進 ●高度な技術や能力を持った人材の育成 	2.82	2.86	2.98		<ul style="list-style-type: none"> ●工業経営基盤の確立 ●工業生産基盤の整備と活用 ●企業誘致の推進 ●多様な主体間の連携の促進 ●ものづくり人材の育成 	3.10	0.12	満足度指数は、平均値を下回っているが、上昇傾向にある。今後は、健康長寿産業振興ビジョンに基づく施策展開することにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、平成24年から28年までの4年間で0.16上昇しており、今後も上昇傾向を持続させるため5年間で+0.12を見込み、3.10とする。	<p><満足度></p>
22	3	就労・雇用	<ul style="list-style-type: none"> ●雇用機会の確保・創出 ●労働力の確保 ●勤労者福祉の充実 	2.46	2.64	2.67		<ul style="list-style-type: none"> ●雇用機会の確保と人材育成 ●就労機会の確保 ●多様な担い手の就業の創出 ●働きやすい環境づくり 	2.80	0.13	満足度指数は、平均値を下回っているものの、上昇傾向にある。今後は、就職相談会や首都圏における企業PR、インターンシップ実施学生に対する支援策などにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、平成24年から28年までの4年間で0.21上昇していることから、今後も上昇を見込み2.80とする。	<p><満足度></p>
23	4	健康増進	<ul style="list-style-type: none"> ●地域保健組織(保健指導員会など)の育成 ●健康づくり活動の推進 ●食育の推進 ●健康管理システムの整備 	3.25	3.31	3.32		<ul style="list-style-type: none"> ●地域における健康管理の担い手の育成 ●健康づくり活動の推進 ●食育の推進 	3.33	0.01	満足度指数は、他の施策と比べても高い値を維持している。引き続き保健指導員や、食生活改善推進委員など、地域に根差す健康の担い手を地道に養成し、満足度の維持、向上を目指す。目標値は、高い満足度を維持することを目指し、微増の3.33とする。	<p><満足度></p>
24	4	保健活動	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣病予防の推進 ●高齢者保健の充実 ●感染症予防対策の推進 ●精神保健の充実 	3.23	3.30	3.19		<ul style="list-style-type: none"> ●保健活動の充実 ●感染症予防対策の推進 ●こころの健康づくり 	3.24	0.05	満足度指数は、他の施策に比べ高い値を維持しているが、平成28年は0.11下降している。これは「どちらでもない」と回答している方が増えていることから、取組自体が日常生活の中で浸透した結果によるものとする。今後も、さらなる保健活動の充実、感染症予防対策の推進、心の健康づくりの啓発に努め、満足度の上昇を目指す。目標値は、平成24年程度までの上昇を見込み3.24とする。	<p><満足度></p>

No	章	施策名	アンケートに記載されている第一 次後期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)			満足度指数の推移	次回以降アンケートに記載され る第二次前期計画の主な取組	平成33年 (目標値)	基準値と の差	目標値設定根拠	【参考】アンケート結果回答項目別割合の推移
				平成24年	平成26年	平成28年 (基準値)						
25	4	医療	<ul style="list-style-type: none"> ●地域医療体制の充実 ●浅間総合病院の充実 	3.11	3.23	3.33		<ul style="list-style-type: none"> ●地域医療体制の充実 ●浅間総合病院の充実 	3.34	0.01	<p>満足度指数は、上昇傾向にあり高い値となっている。引き続き地域医療体制の充実と浅間総合病院の充実を推進し、満足度の維持、向上を目指す。目標値は、高い満足度を維持することを目指し、微増の3.34とする。</p>	<p><満足度></p>
26	4	医療保険・国民年金	<ul style="list-style-type: none"> ●国民健康保険の健全運営 ●後期高齢者医療制度への対応 ●国民年金制度の適正な推進 	2.82	3.01	3.07		<ul style="list-style-type: none"> ●国民健康保険の健全運営 ●後期高齢者医療制度の適切かつ円滑な運営 ●国民年金事務の適正な処理 	3.10	0.03	<p>満足度指数は、上昇傾向にある。これは、国民健康保険財政の健全化に向けた取組みや保険税(料)の収納率の向上、窓口等における資格等管理事務の適正化によるものと考えられる。高齢化が進む中で、将来にわたり安定した医療保険運営を図ることが重要となるが、今後の保険税(料)の改定などにより満足度指数は下降することが予想される。しかしながら、保険給付費の縮減に向けた取組や保険税(料)収納対策の強化、各制度の解りやすい広報などにより、満足度の現状維持を目指す。上記により、目標値は基準値+0.03とし、若干ではあるが上昇するように取り組むこととする。</p>	<p><満足度></p>
27	4	地域福祉 ※「福祉のまちづくり」と聞いた。	<ul style="list-style-type: none"> ●障がいのあるなしにかかわらず支え合える地域福祉の推進 ●福祉に関するボランティア活動の促進 ●障がい者や高齢者の社会参加の促進 	3.07	3.00	3.10		<ul style="list-style-type: none"> ●地域福祉の推進 ●ボランティア活動の促進 ●ユニバーサルデザインのまちづくり 	3.15	0.05	<p>満足度指数は、平成26年に平均点まで下降したが、平成28年は0.1上昇した。今後は、第三次佐久市地域福祉計画を策定し、市民の社会福祉意識の高揚を図るとともに、社会福祉協議会や民生児童委員など関係機関との協働により、地域コミュニティを育成し、市民満足度の上昇を目指す。目標値は、平成24年から28年の4年間で0.03上昇していることから、今後5年間で0.05の上昇を目指す。</p>	<p><満足度></p>
28	4	介護・高齢者福祉 ※「高齢者福祉・介護保険」と聞いた。	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者支援サービスの推進 ●高齢者福祉施設の整備 ●介護保険の適正な運営 ●成年後見制度の利用促進 	3.00	2.97	3.09		<ul style="list-style-type: none"> ●地域包括ケアシステムの構築 ●高齢者支援サービスの推進 ●介護保険の適正な運営と介護基盤の整備 ●高齢者の権利擁護の推進 	3.10	0.01	<p>満足度指数は、平均値前後だったものが、平成28年に0.12ポイント上昇した。これは、地域包括ケアシステムの構築、介護保険の適正な運営などにより、不満と回答した人の割合が減少したことによるものと考えられる。引き続き施策の推進に努めることにより、上昇した満足度指数の維持を目指す。目標値は、微増の3.10とする。</p>	<p><満足度></p>
29	4	障がい者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ●障がい者福祉サービスの充実 ●障がい児及び発達に課題がある児童などに対する支援 ●障がい者施設の充実 ●障がい者の社会参加の支援 	2.99	3.01	3.06		<ul style="list-style-type: none"> ●障がい福祉サービスの充実 ●障がい児及び発達に課題がある児童などに対する支援 ●障がい者施設の充実 ●障がい者の社会参加の支援 	3.11	0.05	<p>満足度指数は、平均値前後ではあるが、上昇傾向にある。今後も関係機関との連携による適切なサービス提供やきめ細やかな支援を行うことにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、平成24年から28年の4年間で0.07ポイント上昇していることから、今後も年+0.01ポイントの上昇を見込み3.11とする。</p>	<p><満足度></p>
30	4	ひとり親家庭支援・低所得者福祉 ※「母子父子福祉・低所得者福祉」と聞いた。	<ul style="list-style-type: none"> ●母子・父子家庭福祉の充実 ●低所得者福祉の充実 	2.94	2.91	2.92		<ul style="list-style-type: none"> ●ひとり親家庭への支援の充実 ●生活保障・自立支援の充実 	3.00	0.08	<p>満足度指数は、平均値より低い値で横ばい傾向にある。今後は、関係団体と連携し、子どもの居場所づくりのための支援の実施を検討するとともに、相談支援体制、日常生活支援のさらなる充実を図るなど、ひとり親家庭への支援の充実と、生活保障・自立支援の充実を図ることにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、平均値である3.00を目指すこととする。</p>	<p><満足度></p>

No	章	施策名	アンケートに記載されている第一 次後期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)			満足度指数の推移	次回以降アンケートに記載される 第二次前期計画の主な取組	平成33年 (目標値)	基準値との 差	目標値設定根拠	【参考】アンケート結果回答項目別割合の推移
				平成24年	平成26年	平成28年 (基準値)						
31	4	少子化対策・母子保健 ※「母子保健」と聞いた。	●母子保健事業(乳幼児健診、乳幼児の予防接種など)の推進 ●思春期保健事業(いのちの尊さを学び母性父性を育む 機会の充実)の推進	3.14	3.24	3.22		●結婚・妊娠の環境整備 ●出産・育児の環境整備	3.24	0.02	満足度指数は、横ばい傾向であるが、平均より高い値となっている。今後も、結婚、妊娠、出産、育児における切れ目のない施策の充実により、満足度の維持を目指す。目標値は、若干の上昇を見込み基準値+0.02とし、3.24とする。	
32	4	子育て支援・児童福祉	●子育て支援ネットワークの拡充 ●保育サービスの充実 ●児童館の整備と運営	3.20	3.13	3.20		●子育て支援サービスの充実 ●保育サービスの充実 ●児童館の整備と運営	3.25	0.05	満足度指数は、平成26年に下降が見られたが概ね横ばい傾向にある。今後も多様化するニーズに対応し、子育て支援事業、保育サービス、児童館運営などの充実を図ることにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、年間+0.01を見込み3.25とする。	
33	5	環境保全	●総合的環境施策の推進 ●環境保全対策(地下水の保全や公害防止など)の推進 ●地球環境保全(省エネルギーや環境負荷低減)の啓発や実践	3.07	3.04	3.05		●総合的な環境保全施策の推進 ●環境保全対策(地下水の保全や公害防止など)の推進 ●生物多様性の保全	3.06	0.01	満足度指数は、横ばい傾向にある。今後も環境保全に係る各種施策を展開し、良好な自然環境や生物多様性が確保された住みよい生活空間を創り出すことにより、満足度の上昇を目指す。しかしながら、過去の満足度の変動が小さいことから、目標値は微増の3.06とする。	
34	5	街並み緑化・公園・景観形成	●公園の整備推進 ●公園の適正な維持管理と利用 ●水辺空間の整備 ●緑化の促進 ●良好な景観形成の推進	2.93	3.10	3.17		●緑豊かな街並みの形成 ●快適な暮らしを支える公園の整備 ●美しく豊かな景観の育成	3.20	0.03	満足度指数は、大幅に上昇傾向にある。これは、市民交流ひろばや佐久総合運動公園の整備によるものと考えられる。今後も佐久総合運動公園内の野球場、クロスカントリーコースの整備などの公園施設の充実により、目標値の上昇を目指す。目標値は、既に高い値となっていることから5年間で+0.03を見込み3.20とする。	
35	5	地球温暖化対策	今回の計画からの新たな施策 環境保全の結果を参考に設定を。					●低炭素社会の推進 ●再生可能エネルギー施策の推進	3.06	0.01	地球温暖化防止に係る各種施策を展開することで、温室効果ガスの排出を抑制し、低炭素社会を構築していくことにより、満足度の上昇を目指す。第二次計画からの新たな施策であり、第一次では環境保全に含まれていたことから、目標値は環境保全の平成28年の3.05を基準に、微増を見込み3.06とする。	
36	5	環境衛生	●廃棄物(ごみ)処理対策の推進 ●し尿・汚泥対策の促進	3.16	3.08	3.18		●廃棄物(ごみ)処理対策の推進 ●し尿・汚泥対策の促進	3.20	0.02	満足度指数は、平成26年に下降したが、平成28年には0.1の上昇となっている。これは平成27年度に生ごみ処理機等購入費補助金の購入要件を緩和し生ごみの堆肥化を推進したことや、埋め立てごみの分別基準の見直しなどによるものと考えられる。今後もこれらのごみ処理対策を継続的に行うことにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、5年間で+0.02を見込み3.20とする。	

No	章	施策名	アンケートに記載されている第一 次後期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)			満足度指数の推移	次回以降アンケートに記載され る第二次前期計画の主な取組	平成33年 (目標値)	基準値と の差	目標値設定根拠	【参考】アンケート結果回答項目別割合の推移
				平成24年	平成26年	平成28年 (基準値)						
37	5	上水道	<ul style="list-style-type: none"> ●水資源の保全 ●上水道の整備・管理 	3.45	3.38	3.47		3.49	0.02	<p>満足度指数は、非常に高い値で横ばい傾向である。これは、生活に欠かすことのできない水道水のほとんどが地下水と湧水を水源としており、水源保全地域の指定等を行うなど、関係団体等により良質な水の安定供給が図られていることによると考えられる。</p> <p>今後も水資源の保全に向けた取組、水資源の有限性や水の貴重さをより啓発していくことで、市民満足度の維持、上昇を目指す。</p> <p>目標値は、既に高い値となっているため微増を見込み3.49とする。</p>	<p><満足度></p>	
38	5	下水道	<ul style="list-style-type: none"> ●公共下水道の整備と管理 ●下水道の健全経営 ●合併処理浄化槽の普及と管理 ●生活排水処理施設の統廃合 	3.37	3.31	3.42		3.47	0.05	<p>満足度指数は、非常に高い値で横ばい傾向である。</p> <p>今後も水洗化の推進を図るとともに、下水道の健全経営の推進を図ることにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から28年の4年間で+0.05していることから、年+0.01を見込み3.47とする。</p>	<p><満足度></p>	
39	6	防災	<ul style="list-style-type: none"> ●防災体制の強化 ●防災対策の推進 ●市民の防災意識の高揚 ●武力攻撃事態等における国民保護体制の整備 	3.13	3.25	3.26		3.36	0.10	<p>満足度指数は、上昇傾向にある。</p> <p>今後も出前講座や自主防災組織の訓練への参加等を行い、防災体制の強化や、市民の防災意識の高揚を促進することにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は年+0.02を見込み3.36とする。</p>	<p><満足度></p>	
40	6	消防・救急	<ul style="list-style-type: none"> ●広域消防・救急体制の強化 ●地域消防体制の充実 ●市民・民間の防火体制充実 	3.40	3.39	3.52		3.53	0.01	<p>満足度指数は、非常に高い値で平成28年にはさらに上昇している。これは、佐久消防署、北部消防署の建設及び高機能指令センターの稼働により、広域消防体制の強化が図られたことによると考えられる。</p> <p>今後も計画的に消防団の装備などを充実させるとともに、火災予防のための防火訓練や広報活動により、市民の防火意識の高揚を図ることで、高い満足度の維持を目指す。</p> <p>目標値は、微増を見込み3.53とする。</p>	<p><満足度></p>	
41	6	交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ●交通安全環境の整備 ●交通安全意識の高揚 ●交通事故に関する相談・救済対策の充実 	3.16	3.07	3.16		3.20	0.04	<p>満足度指数は、平成26年に下降が見られたがほぼ横ばい傾向にある。</p> <p>今後は、高齢化社会が進展する中で、引き続き高齢者交通安全教室等を重点とした交通安全対策を推進し、より安全な交通環境を確立することにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成26年からの上昇傾向の継続を見込み3.20とする。</p>	<p><満足度></p>	
42	6	防犯	<ul style="list-style-type: none"> ●防災体制の強化 ●防災対策の推進 ●市民の防災意識の高揚 ●武力攻撃事態等における国民保護体制の整備 	3.07	3.05	3.10		3.13	0.03	<p>満足度指数は、平均値より高くほぼ横ばい傾向にある。これは、刑法犯認知件数が減少傾向にあり、今までの取組に一定の効果があったことによると考えられる。</p> <p>しかしながら、近年は特殊詐欺に対する取組が特に重要になっており、現在、特殊詐欺撲滅強化運動期間を設け様々な取組を展開している。そのような取組も含め今後も関係機関と連携し施策の展開を図ることで満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から平成28年まで0.03上昇していることから、5年間で+0.03を見込み3.13とする。</p>	<p><満足度></p>	

No	章	施策名	満足度指数(平均値)			満足度指数の推移	次回以降アンケートに記載される第二次前期計画の主な取組	平成33年(目標値)	基準値との差	目標値設定根拠	【参考】アンケート結果回答項目別割合の推移
			平成24年	平成26年	平成28年(基準値)						
43	6	消費生活	3.04	3.09	3.10		<ul style="list-style-type: none"> 消費者意識の高揚 消費者保護対策(悪質商法契約など各種トラブルへの対策等)の推進 消費者意識の高揚 消費生活の改善 	3.15	0.05	<p>満足度指数は、上昇傾向にある。今後も専門の相談員を配置した消費生活センターにおける的確な相談業務の推進を図るとともに、継続的な消費者被害防止等の広報啓発による意識の向上を図り、満足度の上昇を目指す。目標値は、平成24年から28年までに0.06上昇していることから、年+0.01を見込み3.15とする。</p>	<p><満足度></p>
44	7	市民協働・参加 ※「協働のまちづくり」と聞いた。	3.10	3.15	3.10		<ul style="list-style-type: none"> 市民の市政参画機会の拡充 広報・広聴の充実 協働のまちづくりの推進 情報提供と個人情報保護 	3.15	0.05	<p>市民満足度は、平均値より高いがほぼ横ばい傾向にある。今後もより一層協働に関する情報発信に努め、市民とともに地域課題解決に取り組む協働・参加のまちづくりを進めることにより、目標値の上昇を目指す。目標値は、平成26年水準までの回復を目指し3.15とする。</p>	<p><満足度></p>
45	7	地域コミュニティ ※「コミュニティの育成」と聞いた。	3.05	3.05	3.08		<ul style="list-style-type: none"> 地域自治組織の育成 コミュニティ活動環境(情報交換の促進や施設整備)の充実 住民主体のまちづくりへの支援 	3.10	0.02	<p>満足度指数は、緩やかではあるが上昇傾向にある。今後は、人口減少や少子高齢化等により、地域のコミュニティ活動の低下が懸念される。また、都市化の進展とともに年々区への加入率も減少傾向にあり、共助の精神が希薄化する傾向にあることから、大幅な満足度の上昇は困難である。目標値は、施策の展開により維持を目指し、微増の3.10とする。</p>	<p><満足度></p>
46	7	行財政経営 ※「行財政」と聞いた。	2.84	2.87	2.92		<ul style="list-style-type: none"> 効率的な行政運営 効率的な財政運営 適正な人事管理と職員能力発揮 入札及び契約の適正化 	3.00	0.08	<p>満足度指数は、上昇傾向にあり平成24年から0.08上昇している。これは、組織機構の見直しや、外部評価実施などの取組によるものと考えられる。今後も計画的・効率的な行財政運営を行うとともに、市民に丁寧な説明を行うことにより、さらなる満足度の上昇を目指す。過去4年間では、年0.02の上昇であることから、5年間で平均である3.00を目指す。</p>	<p><満足度></p>
47	7	高度情報通信ネットワーク	3.01	3.02	3.10		<ul style="list-style-type: none"> 地域情報化の推進 情報提供・情報発信の充実 行政・市民サービスの情報化 情報セキュリティ管理 	3.20	0.10	<p>満足度指数は、上昇傾向にある。今後も、情報通信ネットワークを活用した住民サービスは、高度化かつ多様化が進むと予想されることから、効果的に情報技術を活用したサービスを導入することにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、過去4年間で0.09上昇していることから、年+0.02を見込み3.20とする。</p>	<p><満足度></p>
48	7	地域間交流・国際交流	3.01	3.04	3.07		<ul style="list-style-type: none"> 交流人口の創出 国際性豊かな人材育成 在住する外国人が暮らしやすいまちづくり 	3.10	0.03	<p>満足度指数は、平均値付近ではあるが上昇傾向にある。今後も交流人口・定住人口の創出に取り組むとともに、在住する外国人にとっても暮らしやすいまちづくりに向けた施策を展開していくことにより、満足度の上昇を目指す。目標値は5年間で0.03ポイントの継続した上昇を見込み3.10とする。</p>	<p><満足度></p>

No	章	施策名	アンケートに記載されている第一 次後期基本計画の主な取組	満足度指数(平均値)			満足度指数の推移	次回以降アンケートに記載され る第二次前期計画の主な取組	平成33年 (目標値)	基準値と の差	目標値設定根拠	【参考】アンケート結果回答項目別割合の推移
				平成24年	平成26年	平成28年 (基準値)						
49	7	広域連携	<ul style="list-style-type: none"> ●広域行政の推進 ●定住自立圏構想の推進 ●広域行政の組織機能強化 	3.04	3.07	3.24	<p>平成24年 平成26年 平成28年 (基準値)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●広域行政の推進 ●定住自立圏構想の推進 ●広域行政の組織機能強化 	3.24	0.00	<p>満足度指数は、広域連合や一部事務組合による事務の共同処理に取り組むほか、佐久地域定住自立圏では主にソフト事業を中心に連携強化を図るなど市町村間連携を強力に進めたため、上昇基調で順調に推移したと考えられる。 今後も人口減少社会の下で、市町村間の役割分担や連携がこれまで以上に重要となることから、引き続き他の市町村との協力・連携を進めることで、満足度の維持を目指す。</p>	<p><満足度></p> <p>平成28年: 満足 4.0%, やや満足 20.9%, どちらでもない 67.0%, やや不満足 4.2%, 不満足 3.9%, 不明 0.0% 平成26年: 満足 3.3%, やや満足 13.2%, どちらでもない 68.7%, やや不満足 7.8%, 不満足 4.7%, 不明 0.0% 平成24年: 満足 2.8%, やや満足 12.8%, どちらでもない 67.5%, やや不満足 10.0%, 不満足 3.4%, 不明 0.0%</p>
		全体	平均	3.04	3.06	3.12	<p>平成24年 平成26年 平成28年 (基準値)</p>	目標値平均	3.17	0.05		